みんなでつくる　みんなの学校

つづく場　ほろろ

VOL. 5　つながる、つづく、つくる鶴居の「つ」をここから

このお便りは、幌呂小学校を地域の「つづく場」として活かしていく取り組みや、活動の様子をお伝えするものです。第５号では、１０月に３回開催した「見学開放日」の様子をお届けします。幌呂小学校だからこそ生まれる「つながり」がはじまっています。

えがおになる

幌小「見学開放日」三日間開催しました！

10月12日、19日、26日には、幌呂小学校で３回の見学開放日を行いました。

地域の方々をはじめ、ソレゾレブリッジのボランティアさんたち、鶴居村内のお子さん連れのご家族、そして釧路市・釧路町・標茶町など管内各地からも多くの方が足を運んでくださいました。

それぞれの日には、世代や立場を越えて、子どもから大人までが思い思いの時間を過ごし、笑顔があふれる温かな空気に包まれました。

校舎の中では、**スヌーズレンルーム**で光やアロマの香りに包まれながらゆったりと過ごしたり、遊びルームでおもちゃや制作を楽しむ姿が見られました。

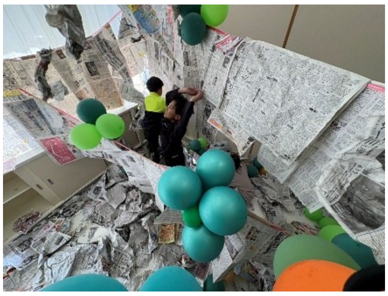
懐かしい教室の黒板に思い出の言葉を書いたり、廊下を歩きながら「ここで運動会をしたね」「この階段で写真を撮ったよ」と話す地域の方もいて、閉校からの時間を超えて、再びこの場所に笑い声が戻ってきたことを感じました。

外の校庭では、ソレゾレのお父さんズによる**焚き火コーナー**が登場し、火を囲みながら自然と会話が生まれました。

「初めて来たけど、あたたかい場所ですね」「子どもが夢中になって遊んでいます」といった声が聞かれ、世代を超えた交流の輪が広がっていきました。

また、**駄菓子屋ソレゾレ**も開店し、子どもたちが小銭を握ってお菓子を選ぶ姿に、どこか懐かしさと賑やかさが漂いました。

ソレゾレの歌ライブでは、来場者も一緒に手拍子や歌声を合わせてくださり、校舎いっぱいに優しいハーモニーが響きました。

音楽をきっかけに自然と笑顔が生まれ、まさに「人と人がつながる瞬間」を感じるひとときとなりました。この見学開放日を通して、幌呂小学校やソレゾレの活動を多くの方に知っていただくきっかけとなりました。「また来たい」「次は友達も連れてきたい」という声もたくさん寄せられ、地域の方々や支援関係者、そして初めて訪れた方々が、それぞれの立場でこの場所の未来を思い描いてくださっていることが何より嬉しく感じられました。

3日間の
来場者約130名
※ボランティア含む